

授業概要

本科目では、保育士・幼稚園教諭として運動あそびを指導・援助できるように、幼児の運動でみられる基本的な動きを「移動系」「平衡系」「操作系」「非移動系」に分け、いろいろな動きを経験する。さらに、幼児が楽しく意欲をもって活動をし、充実感や満足感が味わえるように、環境や方法を工夫した運動を指導・援助できる能力を養うことを目的とし、授業を展開していく。

授業のまとめとして、実践力を養うために、グループで教材研究や運動の指導計画を作成しロールプレイを行う。

授業計画

第1回	オリエンテーション、子どもの生活と運動について <講義>
第2回	移動系の動き① (歩く、走る、跳ぶ、這う等)
第3回	移動系の動き② (跳び箱、器具や用具を用いる運動)
第4回	平衡系の動き① (マット)
第5回	平衡系の動き② (平均台等)
第6回	操作系の動き① (縄跳び、器具や用具を用いる運動)
第7回	操作系の動き② (身近な素材を使ったあそび)
第8回	非移動系の動き (鉄棒、押す、引く、支える等)
第9回	戸外あそび
第10回	伝承あそび
第11回	サーキットあそび① (動きから)
第12回	サーキットあそび② (物語から)
第13回	実技テスト
第14回	運動会の意義 <講義>
第15回	水遊びについて、運動あそびの安全管理と応急手当 <講義>
第16回	まとめ

到達目標

- ・幼児期に身につけるべき運動スキルを体系的に理解できる。
- ・環境や方法等を工夫し、運動あそびを変化・発展させることができる。
- ・幼児の運動時の安全に対する配慮ができるようになる。
- ・自他の動きの観察を通して、適切な身体の動かし方や技能の習得過程を判断できる。

履修上の注意

- ・毎時、課題プリントを提出すること。欠席した場合も提出することが望ましい。
- ・遅刻は、やむを得ない場合 20 分以内で認めることがある。それ以降は欠席とする。遅刻は 3 回で欠席 1 回と同様の扱いをする。
- ・講義の指定がある時以外は実技である。運動をするのに望ましい服装・身だしなみで受講すること。室内用の運動靴を履くこと。
- ・講義、実技を問わず筆記用具を持参すること。

予習復習

予習：シラバスを確認し、自身の生活や子どもの生活を観察しイメージを膨らます。

復習：自らが指導する立場に立って授業内容を記録する。

評価方法

授業内課題への取り組み、授業態度等の平常点 50%。実技課題 30%。レポート 20%。

テキスト

必要に応じて資料を配布する。